

ぐるグルドライブクイズround-5「過ぐる夢、甲府を昇る」解答用紙(Excel版)

チーム名	正解	走行日	
ドライバー		ナビゲーター	
送付先住所	〒		
	氏名	TEL	
ハンドルネーム			←成績表に実名を出したくない場合
DRCへの参加		DRCへの掲載	

クイズ解答欄

黄色部分は必須項目、送付先に記載の方を代表者とみなします

Q-A(距離計測) ラリークラスは 0.01km単位、ドライブクラスは0.1km単位で記入のこと

CP	対象クラス	距離
S~1 CP		km
1~2 CP	R	6.31 km
2~3 CP	R	7.22 km
3~4 CP	R	11.49 km
4~5 CP	R・D	8.11 km
5~6 CP	R・D	7.93 km
6~7 CP	R・D	10.57 km
7~8 CP	R・D	7.05 km
8~9 CP	R・D	9.21 km
9~F CP	R	5.15 km

↑

R=ラリークラス D=ドライブクラス
ドライブクラスは5区間のみ解答して下さい

Q-X1	4図の後
Q-X2	Q-J
Q-X3	Q-M

Q-Y ①	駒岳
Q-Y ②	八ヶ岳
Q-Y ③	兜山

Q-B	29
Q-C	多い
Q-D	5
Q-E	低い
Q-F	八万(または五十六)
Q-G	2
Q-H	元の道に戻る
Q-I	「取って」「探って」「捕って」「盗って」はだめだけど、「撮って」だけは良い、と言いたいために、掛け言葉になっている
Q-J	金桜神社
Q-K	一六〇〇M
Q-L	④治水
Q-M	韭崎駅通過時刻表
Q-N	34
Q-O	下りSA
Q-P	シジュウカラの子

参加クラス	ラリークラス
使用車	
使用トリップメーター	
トリップメーター表示	

ぐるグルドライブクイズround-5「過ぐる夢、甲府を昇る」解答用紙(Excel版)

チーム名	正解	走行日	
ドライバー		ナビゲーター	
送付先住所	〒		
	氏名	TEL	
ハンドルネーム		←成績表に実名を出したくない場合	
DRCへの参加		DRCへの掲載	

クイズ解答欄

黄色部分は必須項目、送付先に記載の方を代表者とみなします

Q-A(距離計測) ラリークラスは 0.01km単位、ドライブクラスは0.1km単位で記入のこと

CP	対象クラス	距離
S~1 CP		km
1~2 CP	R	km
2~3 CP	R	km
3~4 CP	R	km
4~5 CP	R・D	8.1 km
5~6 CP	R・D	7.9 km
6~7 CP	R・D	10.6 km
7~8 CP	R・D	7.1 km
8~9 CP	R・D	9.2 km
9~F CP	R	km

↑

R=ラリークラス D=ドライブクラス
ドライブクラスは5区間のみ解答して下さい

Q-X1	4図の後
Q-X2	Q-J
Q-X3	Q-M

Q-Y ①	駒岳
Q-Y ②	八ヶ岳
Q-Y ③	兜山

Q-B	29
Q-C	多い
Q-D	5
Q-E	低い
Q-F	八万(または五十六)
Q-G	2
Q-H	元の道に戻る
Q-I	「取って」「探って」「捕って」「盗って」はだめだけど、「撮って」だけは良い、と言いたいために、掛け言葉になっている
Q-J	金桜神社
Q-K	一六〇〇M
Q-L	④治水
Q-M	韭崎駅通過時刻表
Q-N	34
Q-O	下りSA
Q-P	シジュウカラの子

参加クラス	ドライブクラス
使用車	
使用トリップメーター	
トリップメーター表示	

ぐるグルドライブクイズRound-5「過ぐる夢、甲府を昇る」
最終成績

◆ラリークラス

順位	チーム名	代表者	QA											QB	QC	QD	QE	QF	QG	QH	QI	QJ	QK	QL	QM	QN	QO	QP	QX1	QX2	QX3	QY1	QY2	QY3	小計	総減点	解答受領日	DRC参加
			S / 1	1 / 2	2 / 3	3 / 4	4 / 5	5 / 6	6 / 7	7 / 8	8 / 9	9 / F	小計	目の数	礎石	触知案内板	山手門	漢数字	通る橋	時間がない	とって	岩の所有者	姫の宮距離	作者の憂慮	役立つ情報	梅パネル	上下SA	何の子	桃の絵	石仏	ベンチ	手書きの山	木彫りの山	写真の山				
1	DANGAN CLUB	矢木 雅人	/	0	0	0	0	1	0	0	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	-	0	0	0	0	0	0	2	5	7月27日	○		
2	1円70銭	青木 英一	/	1	1	1	0	0	0	1	1	2	7	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0	-	0	0	0	0	0	0	5	12	9月29日	○		
3	中古でGO!	長谷部 章	/	0	1	2	0	1	0	2	1	1	8	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0	-	0	0	0	0	0	5	13	7月9日	○			
4	食うらん	岸 憲司	/	0	0	2	2	1	3	0	1	2	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	-	0	0	0	0	0	2	13	8月12日	○			
5	つれづれ	山本 英雄	/	0	0	2	1	2	1	1	0	1	8	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	3	0	-	0	0	0	0	0	7	15	9月10日	○			
6	頭文字J	頭文字J	/	0	0	2	0	3	4	0	0	2	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	-	0	0	0	0	0	5	16	9月30日	○			
7	アンドロメダ	泉 直樹	/	0	1	3	1	2	3	0	1	1	12	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	-	0	0	0	0	0	4	16	9月30日	○		
8	チーム やってもーた!	関 康成	/	0	0	2	1	2	2	1	1	1	10	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	3	0	-	0	0	0	0	0	7	17	8月12日	○		
9	マリモスターズ	マリモスターズ	/	0	0	1	0	0	2	2	0	1	6	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	3	0	-	0	0	0	0	0	11	17	8月17日	○			
10	YuChans 2018	清水 正章	/	1	1	3	1	0	2	1	2	2	13	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	-	0	2	0	0	0	6	19	7月12日	○			
11	(WI)TH	松本 純弘	/	1	1	3	2	1	3	1	3	2	17	2	0	0	-	2	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	8	25	8月22日	○			
12	CHIBUU Racing	鈴木 直三	/	0	1	2	1	0	1	1	3	2	11	0	0	2	-	0	2	2	2	0	0	1	2	3	0	0	0	0	0	14	25	9月24日	○			
13	TEAMうましか	堀口 泰夫	/	1	1	2	2	3	4	0	2	2	17	2	2	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	3	0	-	0	0	0	12	29	9月28日	○			
14	oyajikumi	nobu	/	2	4	6	3	2	4	0	1	4	26	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	-	0	0	0	0	6	32	8月4日	○			
15	チーム大澤	遠藤 秀男	/	1	1	4	2	2	4	0	1	2	17	2	0	2	1	2	2	0	2	0	0	2	3	2	-	0	0	0	1	19	36	9月30日	○			
16	MAC	MAC	/	10	5	6	1	1	3	1	1	2	30	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	2	0	0	-	0	0	0	0	8	38	9月22日	○			
17	オジョウトジヤ	黒田 正彦	/	2	0	5	1	6	7	1	1	2	25	2	0	2	1	2	2	0	2	2	0	1	2	3	2	-	0	2	0	0	23	48	9月18日	○		
18	チーム智	山崎 輝彦	/	5	6	10	10	7	10	3	2	8	61	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	1	0	3	0	-	0	0	0	1	9	70	9月24日	○		
19	Cleyeras(クレイラズ)	榎原 修	/	1	10	7	10	6	6	10	8	9	67	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	3	0	-	0	0	0	0	7	74	9月3日	○			

◆ドライブクラス

1	食楽人	食楽人	/	-	-	-	2	2	3	2	2	-	11	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	-	0	0	0	0	1	6	17	9月30日	×	
2	ジバジバ亀さん	アッキー	/	-	-	-	0	0	1	1	0	-	2	0	0	0	2	2	0	2	2	0	0	3	0	-	0	2	0	1	1	1	16	18	9月20日	○	
3	ワタナベ	NABEYRZ	/	-	-	-	4	3	6	4	4	-	21	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	3	0	-	2	0	0	0	1	1	13	34	9月24日	×

ぐるグルドライブクイズ round-5「過ぐる夢、甲府を昇る」

◆全体

総勢22チームにご参加頂きました。序盤の市街地、特に甲府駅周辺をコースに取り入れるには迷いがあったのですが、今回は市街地走行に対するご意見はなし。むしろ甲府城跡や様変わりした甲府駅周辺に関する感想が多く、カットしなくて良かったです。クイズは全般的に減点が多く、解釈が難しかったのかもしれませんが。以下に各クイズの解説を記します。



◆クイズ解説

Q-A(距離計測)

今回は1桁の減点に抑えたのは僅か5チームという、荒れた展開となりました。ラリークラス全チームの平均は約19点でした。特に減点が大きかった3-4CPと6-7CPは、ヘアピンを含むカーブが連続しながらもスピードの出る道という共通点があります。駆動方式の差や走り方の差が出やすい区間だったのかもしれませんが。なお今回も、幸いにして通行止めはなく、全チーム無事完走です。

Q-B(動物の目の数) 正解率=73%

スタート地点からの出題です。アンダーパス内に描かれた楽しい絵。おひさまの目を数えてしまった方、ちょうちょの触覚を数えてしまった方は残念でした。逆に、人間を数えなかった方は、問題文でわざわざ「動物」と指定していることを深読みしたのでしょうか。意図としてはおひさまを除外するだけで良かったのですが。

余談ですが、当初想定したスタート地点はここではなく、山梨県立美術館でした。庭だけでも楽しい出題ができたのですが、広い駐車場が朝からすぐ満車になるために断念しました。山梨県民はそんなに美術に関心があるのかと思いきや、数十人の大人たちが館内に入らず玄関の前庭で黙って立ち尽くす異様な光景が。手にはスマホ。そう、あのゲームが理由でした。

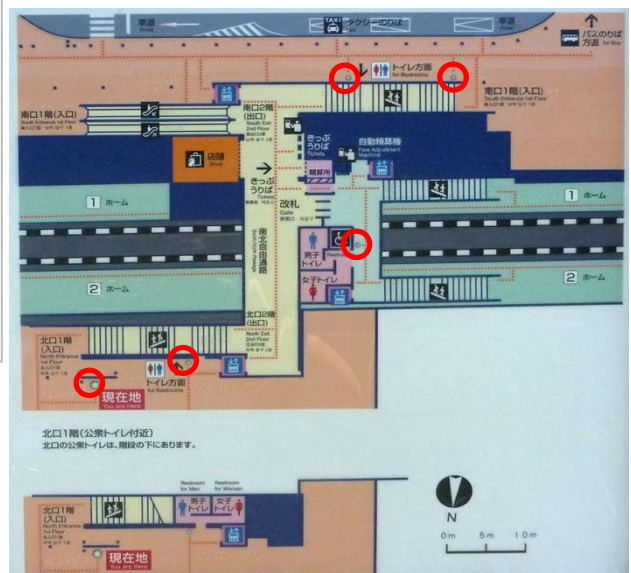
Q-C(講堂跡の礎石) 正解率=95%

ここ国分尼寺跡地の雰囲気良かったので、CPとクイズを設定しました。講堂跡の礎石ですが、普通は数える人はいないと思いますが、実際に数えてみたら14個。説明板には12個と数が合わなかったもので、解釈で解答が割れない形で出題しました。その結果、高い正解率となりました。

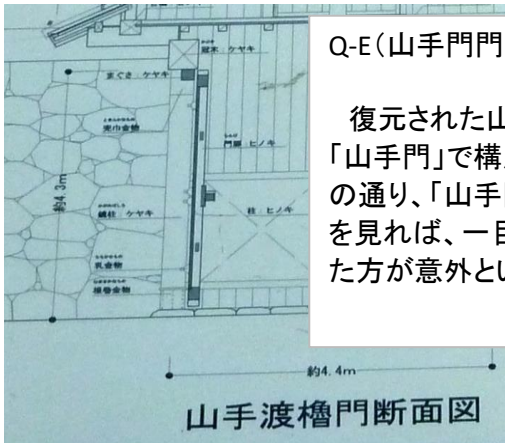
Q-D(触知案内板) 正解率=68%

案内板自体の所在が表現されていたので、それを見つけて数えてもらうだけの問題です。7つと回答した方は、拡大図内に示されているものを数えたため重複してしまったと思われます。4つと解答した方は、現在地の触知案内板を数えなかったのかな。意外と落とし穴がありましたね。

↓判りづらいですが、赤丸箇所です

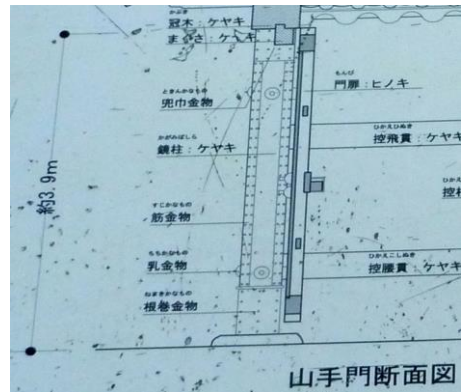


ぐるグルドライブクイズ round-5 「過ぐる夢、甲府を昇る」



Q-E(山手門門扉の高さ) 正解率=80%

復元された山手御門は「山手渡櫓門」、「山手門」で構成されています。問題文の通り、「山手門」の説明板(右の写真)を見れば、一目瞭然ですね。引っ掛かった方が意外といらっしゃいました。



Q-F(漢数字の最大値) 正解率=36%

昇仙峡は夫婦木神社姫の宮の鳥居から出題。今回一番解釈が難しかったかもしれません。日付、名前、住所にいずれにも漢数字が使われています。この中でどれを解答すれば良いのか。ポイントは問題文に「最大値」とある点です。東「京」都は数字として使われておらず、最大値となり得ず。また「京」も「万」も漢数字ではありますが、数の単位であり、1字で数値を表す漢字ではありません。(千、百、十などは数値を表す漢数字。「千円札」というが「万円札」といわず「一万円札」というように)

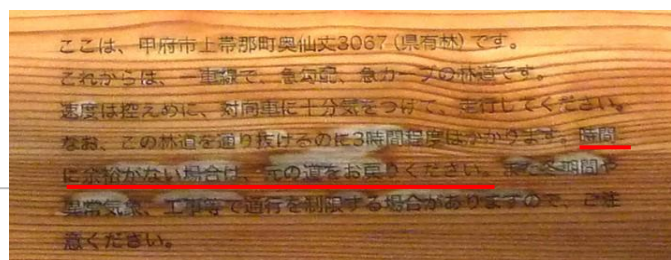
最初は「もっとも大きな漢数字」を問う形だったのですが、これだと上記のようなあいまいさが出るため、あえて「最大値」としました。従って数値としては「八万」が最大です。ただし明確に数字として使われているものに限定すると「五十六」が最大値であるため、これも正解としました。

ちなみにこの神社、珍スポットの代表格ですが、内観された方は少なかったようです。ここでは解説は割愛しますので、興味ある方はネットで調べてください。



Q-G(実際に通る橋) 正解率=68%

昇仙峡からもう1問。年季の入ったイラストマップですが、現況と合っているので出題しました。このイラストマップ上、4CPまでのルートでは渡った橋はありません。4CPから先は、実際に走ってみたいと分からないので、あとで地図と照らし合わせるなど、一手間かかったことと思います。4CPを出発してすぐの橋と、荒川ダムの先の橋の計2つが正解です。



Q-H(時間がないときは) 正解率=91%

この案内板、眺望ポイントがとても詳しく載っています。所要時間はもとより、眺望のひらけ方(全方位/180度/90度)まで。当初は所要時間を計算したり、眺望ポイントに関する出題を考えていたのですが、時間がない人は元の道を戻りなさい、と書いてある観光案内板は、世の中にそうはないだろうと思い、こっちを出題することにしました。

ぐるグルドライブクイズ round-5「過ぐる夢、甲府を昇る」

Q-I(「とって」が平仮名の理由) 正解率=82%

解答としての表現に苦労された方もおられましたが、2つ(以上)の意味を兼ねていることに触れていれば正解としました。子供が読めるように平仮名で書いてあると解釈した解答もありましたが、すぐ上に「取」「捕」は漢字のまま掲載されているので、その解釈はちょっと無理があると思います。

Q-J(燕岩岩脈) 正解率=86%



5CPから少し走ると、右手に登場しました。一見ただの露出した岩肌なので、見過ごした方もいたようです。右下に説明看板があり、ここに「所有者 金桜神社」と書かれていました。コース公開後は草が伸び、この説明板が見えにくくなっていたかもしれません。

Q-K(姫の宮までの距離) 正解率=95%

この神社も珍スポット。昇仙峡にあった姫の宮と対を成します。その姫の宮までの距離を問う問題で、正面から見える看板の裏側に大きく書かれていました。正解率は高いのですが、手強い問題だったとか、諦めて帰ろうとした時に発見した、という感想が複数ありました。それもそのはず、作者自身、いい出題ができないから一旦先へ進もうとしたときに見つけて問題にしたのですから。



Q-L(作者の憂慮) 正解率=77%

日本百名山の深田久弥氏といえば、登山家ならずとも山好きなら誰も知っている人物です。その記念公園の周辺があまりに酷いことになっていたの、怒りを込めて出題対象にしました。最初の試走で訪れた際は、高いフェンスに囲まれ状況が分かりませんでした。次の試走で惨状を目の当たりにしました。山の斜面の木を伐採することで、豪雨の際に土砂崩れが起きやすくなります。ここは急斜面ではないものの、とても心配になりました。アンケートにも私と同様の感想が少なくありませんでした。

このように景観よりも治水が気になったという訳です。治水は、水害対策だけでなく、治山も含まれますので④が正解です。

Q-M(銀河鉄道展望に役立つ情報) 正解率=32%

殆どの方は日暮れ前に到着したでしょうから、実際に”銀河鉄道”を見た人はいないかもしれません。私は試走時に2回銀河鉄道を楽しみました。都会の電車ではないので、次の電車が通過するまで結構時間があり、待ち時間を長く感じます。そんなとき、これのおかげでタイミングを逃さずにすみました。CP基準位置になっていた公園標示の下に付けられていたこの時刻表が正解です。

藤崎駅通過時刻一覽表	
上り	下り
17時36分	17時36分
17時56分	17時43分
18時05分	17時58分
18時23分	18時19分
18時36分	18時43分
18時56分	19時05分

解答で多かったのが、銀河鉄道の由来を説明した看板の記載の引用で、見頃の季節が書かれている、見頃の時間帯が書かれている、というもの。確かにこれらは次回訪れるときの参考にはなりますが、現地で役立つ情報としてはこの時刻表に勝るものはないでしょう。



Q-N(梅のパネル) 正解率=36%

ここもコース公開中に草が生い茂り、梅園の看板が見つけにくかったようです。パネルは、すべて梅の図柄でしたが、落とし穴は後半にありました。梅園入口から始まる階段上に、(破碎した1枚を除き)22枚。その後続く遊歩道にある2枚は、階段上ではないので対象外。そしてその先でまた階段が始まり、ここに12枚。よって22+12=34枚が正解です。

多くの方は最初の階段で安心されてしまい22枚という解答が多かったですね。階段上ではない2枚も数えてしまった、もったいない解答も。

Q-O(SA上下線どっち?) 正解率=91%

ゴール地点で見上げればすぐに分かる展望塔です。外部駐車場が上下線SA両方に接続していることを生かした出題としたかったので、上下SAの両方をもっと探し回ってもらおう想定でしたが、満車の場合に解答困難になるため変更したものです。コース公開中に工事用のネットで覆われたようですが、解答には支障ないと判断しました。



Q-P(何のこども?) 正解率=100%

Q-Eの代替問題として用意。2チームが選択し、いずれも正解を得ました。この鳥獣センターには面白いものが多いですが、出題したこの絵はあり得ないほどシュールです。鳥や昆虫を含めた動物の生態を描きこんだ、上下が天井から床まである大作なのですが、何となく色調が暗くおぞましい印象があるうえ、リアルな幼虫や動物の死骸まで描いてあり、普通の人には絶句します。出題したシジュウカラの子も、かなりシュールでしたね。



Q-X 全体正解率=94%

皆さん良い出来でした。桃の絵は意外と大きくて驚かれたでしょう。一転、石仏は小さいので、見落とした方、そもそも燕岩岩脈のクイズを見落とした方、がおられました。



Q-Y 全体正解率=88%

これも良い出来でした。石和温泉駅にあった兜山は、触知案内板の数メートル横の周辺情報の看板にあり、少し難しかったはずですが、ラリークラスは全員正解でした。しかしドライブクラスは全員不正解と、なぜかきれいに分かれました。作者の狙い通り、実物の山と間違っていたら写真だった、と意表を突かれた方もおられました。ハヶ岳はQ-Hの説明板にあったのですが、ヤマ勘で正解した方も。駒岳は銀河鉄道展望公園内の説明板に、宮沢賢治の心友である保坂嘉内のスケッチとして載っていました。



深田久弥氏にちなみ、山のクイズをこのような形で出題してみたのですが、いかがだったでしょうか。

